P-F-3

アトピー性皮膚炎患者に対する海洋療法の改善効果

Effects of Thalassotherapy on Patients with Atopic Dermatitis

○高木 邦明、繁田 通子、石倉 靖子、高木 渉、出川 雅邦

静岡県立大学 薬学部 衛生分子毒性学教室

We investigated the effects of thalassotherapy on water holding capacity of skin stratum corneum (SC) and reduction of itchy in patients with atopic dermatitis (AD). The water-holding capacity of the SC in AD was significantly increased and the nocturnal scratching in patients with AD was significantly reduced by modalities of thalassotherapy From these results, we speculate that thalassotherapy has a therapeutic effects on patients with AD.

【目的】

海洋療法(タラソセラピー)は海洋性素材や気候を利用した自然療法で、その歴史は古く治療効果も多種の疾患で症例報告がある。しかし、その効果を科学的に検証した研究は少なく不明な部分が多い。我々はこれまでに本学会で、タラソセラピーによる鎮静効果やリラクゼーション効果について報告してきた。今回は一般公募したアトピー性皮膚炎患者(AD)に対するタラソセラピーの効果を検討した。

【方法】

一般公募した被験者 98 名からアトピー性皮膚炎で通院している 19 名(AD)を抽出し、健常人と比較検討した。被験者には海泥療法、海藻療法、気泡浴など、タラソセラピーでの一般的施術を、1日につき、1または2の療法で、合計5日体験させた。この施術前後でグラビコーダーによる脊髄反射速度、表皮水分計による角質層保水機能を測定、そして心理アンケート(POMS)による主観的な評価も行った。さらに、施術開始前の二週間と施術期間内での睡眠中の活動量(引っ掻き量)を Mini Mitter 社製 Actiwatch で計測した。

【結果】

ADの角質層保水機能は施術の回数を重ねる毎に上昇した。また、施術を開始する前のADの引っ 掻き量はタラソセラピーの施術をすることで有意に減少し、健常人の値に近づいた。

【結論】

今回の測定結果および被験者の POMS や痒みのアンケートによる主観評価から、タラソセラピーはアトピー性皮膚炎に効果的であり、ADのQOLを改善できると推測した。